

平成25年度 関戸公民館等利用者懇談会要点録（報告）

◎関戸公民館会場

日 時 平成26年1月16日（木） 午後7時から午後9時

場 所 関戸公民館 ヴィータホール

出席者 関戸公民館長、関戸公民館主査2名、主任1名

永山公民館長、永山公民館主査1名

行政管理課資産活用担当課長

学びあい育ちあい推進審議会委員2名

参加団体 12団体（13人）

進行内容

- 1 開会挨拶 関戸公民館長挨拶
- 2 学びあい育ちあい推進審議会委員紹介・公民館等職員紹介
- 3 多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラムについて
資産活用担当課長より説明

◎主なご意見・ご質問等

- ・まちづくりの大事なところを社会教育が担っている。多摩市では、永山公民館と関戸公民館という2つの公民館があったことが地域に行き届いた社会教育の場を提供してくれた。関戸公民館で多くの団体が活動しているが、このような説明をされるのであれば、皆さんに事前にお知らせすべきだったと思う。

⇒今回1回だけではなく、今後も市民の方には市として繰り返し何回も説明会を開いてお知らせしていくので了承願いたい。

- ・関戸公民館がなくなるとどのくらいの経費が削減できるのか。

⇒今回の削減の試算は、関戸公民館の建物は残るが、職員が居なくなった部分だけ人件費分がマイナスになる考えである。

- ・永山公民館と統合ということだが、関戸の職員がすべて永山に移るのか。

⇒職員数がどうなるかは今の段階ではわからないが、全員が永山へ異動する訳ではない。永山公民館での事業量が増える分だけ職員数を増やしてもらうという考えである。また、永山公民館だけではなくコミュニティセンターや関戸公民館跡の施設を利用しながら、今後は事業を展開していくことになる。

- ・コミュニティセンターを利用して事業を実施する場合、社会教育関係の職員がいないと、中身がそのようなレベルにならない。職員配置も考えてもらわないといけない。

⇒それぞれの施設に社会教育関係の専門分野の職員を配置することについては、行政改革の人員削減の問題もあるので、特定の職員だけを増やすことは難しく、「行動プログラ

ム」の中では考えていない。

- ・パルテノン多摩の改修費用35億円かけてやる必要があるものなのかを検討した方が良いと思う。地域の中で培われてきた施設というものは、そう簡単に無くしてもらっては困る。関戸公民館の大切さ、小さい施設の大切さをもう少し真剣に考えてほしい。

⇒小さな施設を幾つもの検討して数千万円の効果を出すよりもパルテノン多摩を無くせば問題は解決するのではないかという意見も多方面から頂いている。しかし、単に数字だけではなく、多摩センターのエリアに企業とか文化活動の施設「パルテノン多摩」があってこそ人が集まり、まちが賑わい、そしてそこに進出する企業があって、今も多額の納税を頂いている。

多摩中央公園の中の一部にパルテノン多摩があり、池があると言うように個々の目的ごとに整備してきたが、今後は複合的に整備して、賑わいのある使い方にする方向で進めていきたいと考えている。まち全体で考えた時、聞けば聞くほど皆さん色々な意見がある中で、将来のまちづくりあたっては、この「行動プログラム」で進めさせて頂きたいと考えている。

- ・関戸公民館は施設や設備が充実しており、是非、これからも活動が続けられるようにしてほしいと願うが、廃止後も今までと同じように施設利用ができるのか、施設の利用に支障が出ないような必要な職員人数を残してもらえるのか。

⇒関戸公民館のある場所は、7階と8階は市が所有しており、売ることは今のところ考えてはいない。今後の利用方法については、想定として公民館ではなくなるが、一般の市民の方々にご利用して頂く枠組みは残していきたいと考えている。ただし、8階のホールと7階の市民ロビーについては駅前の好立地を活かして、民間からアイデアを頂いてうまく使い方ができるのではないかと考えている。

現在は、「公民館」ということで使用料を負担して貰っているが、民間になったら10倍になってしまうという心配もあると思うので、今後はそのようなことも踏まえて考えていきたいと思っている。

また、現在は公民館として使用方法の制約があるが、やり方によってはむしろ今までより使い勝手が良くなる方法があるのではないかと考えている。そうしたところについて我々も知恵を出して、市民の方々、利用者の方々と意見交換させて頂いてまとめていきたいと考えている。

したがって、今の段階である部屋は大丈夫ですとか、この部屋はダメですとかという段階までには至っていない状況である。

4 意見交換

2つのグループに分かれて意見交換を行いました。

◎主なご意見等

- ・関戸公民館が廃止になった場合、ここはどのようになるのか。ここで活動している団体

としては大変困る。また、この施設が民間委託になった場合に永山公民館と使用料で差が出たりしすることも心配である。

- 公民館の団体登録数は 1200 団体ほどあるそうだが、その登録資格は2名からとなっている。
2名の団体が使用する時と他の団体（人数の多い団体）が使用する時では、施設が公平に使われていないと思われるので検討してほしい。また、2名登録団体がどのような使い方をしているのか実態調査もすべきである。
- 施設の使われ方について、どのような団体が、どの部屋を使っているかをヒアリングして実態調査をやって頂きたい。そして、この関戸公民館を使って活動している団体が活動継続できようその対策を考えてほしい。
- 2部屋（和室1と和室2、学習室1と学習室2）予約している団体について、部屋が隣接して音が漏れるという理由で、公民館から言われて片方の部屋は使用しないのに両方の部屋を予約している。その使い方について、その実態を把握してそれに合った使用ができるような場所を考えてほしい。
- 「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」について、今後は「市民ロビー及びホールを中心に民間活力を導入して集客増加、歳入確保を図ります。」と書かれてある。この件について、関戸公民館は今でも時間帯によってはホールの予約が埋まっていなかったり、市民ロビーがあまり活用されていない状況がある。
- 今後は、地域に根差した施設になるように、民間やいろんな市民の方に知恵を出してもらうなどして、関戸、一宮、桜ヶ丘などの人たちの賑わいをつくる拠点となる市民活動の場になるように「市民の民間活力」を取り入れた方法も考えてほしい。

5 学びあい育ちあい推進審議会委員から感想

- 利用者懇談会は、審議会としても利用者の生の声が聴けるととても大切な時間だと思っている。また、審議会でも公民館について色々と議論して、市民に開かれた公民館運営ということで検討させて頂いている。
今日は、公共施設の見直しのことについて、皆さんのご発言を聞いて冷静に受け止めて頂いていることがわかって安心している。説明を受けて、今後はどうなるのだろうか、利用料金はどうなるのだろうか、使い勝手はどうなるのだろうかという心配はあると思いますが、市としてもこれ以上一歩たりとも譲らないということでもない考え方なので、今後、市民の皆さんのアイデアを取り入れて、市が提案しているよりも良いところで着地ができれば、とても良い切っ掛けになると思っている。ただやはり問題は市の財政が厳しくなったり、少子高齢化が今以上に進んでいくと財政的にも厳しくなっていくと

いう中で、次の世代の子供たちに借金だけ残していくのではなくて、それを少しでも減らしていく、多摩市だけでなく日本の国全体でも同じ状況があって、多摩市もそういう課題を抱えている状況がある訳です。

したがって、市民の要望が全て叶う訳ではないが、その中でも良い選択をして多摩市として審議会のメンバーも一緒になって考えて取り組んでいきたいと強く感じました。

- 私は永山公民館の利用者として審議会に参加させて頂いている。皆さんと同じように部屋の使い方ですとか、他の団体はどうやって使っているのだろうかとか、色々と気になることがあります。やはり公民館という場所が身近にあるということは、どんな活動でも出来る可能性が広がる場所なので、そのような場所が少なくなるように公民館という形だけでなく、利用者が活動できる場所が出来るだけ多くなるように、これからも考えていきたいと思いました。

6 閉会